山都町立潤徳小学校　学校だより

# 狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ ←カラーで見られます！
令和５年３月１７日（金）　第６２号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

## 卒業までの登校日はわずか3日

いつもだったら、週の途中にある祝日を歓迎するのですが、今回ばかりは・・・。この1日のおかげで、6年生と過ごす日が1日減った気分です(T-T)

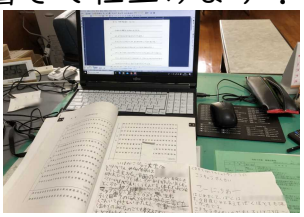
昨日の矢部中学校訪問では、タブレットで新聞作りをしている様子が公開されました。担任の立山先生によると、現在の中1の子たちがICT活用能力に長けていて、昨年の複式学級時に今の6年生を鍛えていたとのことです。なるほど画面上のレイアウトを見ていると、普段便りをバンバン発行している私も感心するほどのレベルでした。思わず「今度の学校だより書いてもらおうかな」と言いました。

6年生の登校日もわずか3日。20日には、6年生の小学校卒業のはなむけに「卒業生に送る特別授業」を実施する予定です。

## 小学校経験１年未満の校長、常に勉強が必要！そして高校時代を思い出す。

東京日野市潤徳小学校サプライズ訪問からちょうど１週間・・・早いものです。お手紙をもらった２名の子への返事を書いています。ここで注意が必要です。今回手紙をくれたのは２年生と３年生でした。「これまで学習した」漢字を使用して書く必要があります。そこで、教育課程のバイブルとなる「小学校学習指導要領」を見ながら、ＰＣ上で下書きしています。もちろん清書は手書きで仕上げます！

世間はすっかりメール文化になってしまっていますが、こうした手書きの手紙は、もらって本当にうれしいものです。なくしたくない文化です。高校時代、遠距離の彼女に１週間で便せん２０枚以上手紙を書いたことを今でも思い出します。今の時代なら相手から“引かれる”かもしれませんが（苦笑）。



## 潤徳抄

１６日、本校に来た矢部中の３名の先生方は、かつての“戦友”である▼養護教諭のＯ先生は、某中学校で生徒指導が大変な時代に同勤し、よく話していた仲である。Ｍ先生は、郡中学校数学部会でお互いの授業を公開しながら指導力を磨き合った。部活動でも情熱を持って指導する熱い人だ。Ｆ先生は、ある大規模中学校で私が教頭をしていた時の２・３年担任。愛くるしいキャラクターで生徒からも職員からも親しまれていた▼３名の到着後、校長室に案内し、昔話で盛り上がった。その話の中で、以前私が担任していた子がＦ先生の従姉妹だったことがわかった。世の中は本当に狭いものだと思った▼今回の本校訪問は、矢部中の３年担任が基本的に担当している。今回来なかったが、３年学年主任もかつて私が学年主任をしていたとき同学年を組んでいた仲である▼矢部中に進学しても、情報は私のところに入りやすい体制だ笑笑。